

こ 挨拶

佐久間レディース&ファミリアクリニック



緑映ゆ天に伸び立つ花菖蒲



新しい春はまだ浅く厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか

当クリニックでは平成8年の開設以来、約4,500人の新しい命をお迎えすることができました。これまでお産にいらしていただきました妊婦さまには、心より御礼申し上げます。当クリニックでは開設20年を節目として、一昨年末をもって分娩の取り扱いを終了させていただきましたが、昨年も約200人の妊婦さんにご受診を頂きました。厚く御礼申し上げます。

今後につきましては、分娩を取り扱わないこと以外は産婦人科、小児科、内科の診療に全く変更はございません。施設名も“佐久間レディース&ファミリアクリニック”に改称し、思春期、更年期、ホルモン療法、子宮がん・乳がん検診、月経痛・月経異常、ピル、小児健診、予防接種など、幅広く対応しております。特に、子宮がん二次検診は大学での専門性を活かして力を入れており、的確な精密検診(コルポ診、組織診)を致します

妊婦健診についても、葛飾赤十字産院のセミ・オープンシステム(別紙をご参照ください)のご利用によって、従来と同様に当院で受診いただけます。また、妊婦健診は、予約制で出来るだけ優先的に診療し、4Dの機器により立体的な超音波画像(18週以降)もご提供いたします。

働くお母さまのための病児保育室を開設いたしましたので、お子さまが体調不良の際にはご利用ください。医師、看護師、保育士による安心の保育でお迎えいたします。

地元の名花“花菖蒲”に倣って、高い天空を目指して向上心をもって邁進し、みなさまの健康と安心のために、これからも最新、最良の医療をご提供してまいります。



リ・ニューアル

リ・フレッシュ

リ・スタート

Google Street View でクリニック内をご覧ください

これまでのご愛顧に心より御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご受診くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年2月

佐久間レディース&ファミリアクリニック

(旧称：佐久間産婦人科クリニック)

院長：佐久間達朗



愚息 佐久間淳也が産婦人科医として研鑽しており当クリニックでも週に1回程度の診療を致します。よろしく願い申し上げます。



健康維持のため糖質制限したところ法令線が深くなりました

葛飾赤十字産院の セミ・オープンシステムについて

病診連携とは ⇒ “病院” と “診療所” の医療連携

妊婦健診は 診療所で 分娩は 病院で

以下は葛飾赤十字産院からのセミ・オープンシステムの説明文書の抜粋です。

=====

1. 妊婦健診は、かかりつけの診療所を定期的に受診してください。
2. 妊娠12週、30週、36週、40週以降の検診は、当院（葛飾赤十字産院：以下日赤）を受診してください。
3. 健診結果は「共通診療ファイル」に入れ、利用者ご本人に管理していただきます。
4. 初診以降は、夜間・休日に異常がある場合は、日赤で対応いたします。
5. 妊娠30週に入院予約（予約金の支払い）をしていただきます。
6. ご本人が希望する場合、もしくは医師が必要と判断する場合には、日赤に転院していただくことがあります。
7. 分娩は日赤で行います。
8. 母子の1ヶ月健診は、経過に異常がない場合、日赤でも診療所でも受けることができます。

=====

セミ・オープンシステムによる病診連携は

多数多彩な産科医療機関の機能を総合的に運用し、

産科医療における安全性と快適性の向上を目的として、

国や都が推進している事業です。